

今こそ、あなたの力が必要です 楽しもう！地域でのボランティア活動 多様なスタイルを知る

2017年12月9日(土)
9時30分～11時30分
大阪狭山市市民活動支援センター

社会福祉法人 大阪ボランティア協会
梅田 純平
umeda@osakavol.org



About Us ; 大阪ボランティア協会とは？



- 日本で最も歴史の長い民間の市民活動推進機関（52年）。
- 年間約600人に、ボランティア活動の機会を提供。また年間約150件のボランティア依頼に応じる。
- 年間400件以上のNPO設立・運営相談、企業や行政とのコーディネーション。
- 協会は、徹底的に【市民参加】にこだわっています。ボランティア約100人と職員約10人で協働して事業展開しています。



講座の目的とねらい

目的①

自分にできる「ボランティア活動」について、
受講前よりもイメージできるようになる

目的②

ボランティア活動をする魅力を知る

目的③

ボランティア活動を楽しみながら続けていくコツ



「社会で起きていること」

少子化 高齢化 過疎化 シングルマザー
生活保護 障害 自治会 野良猫 老々介護
病気 ホームレス 外国人住民 自然環境問題

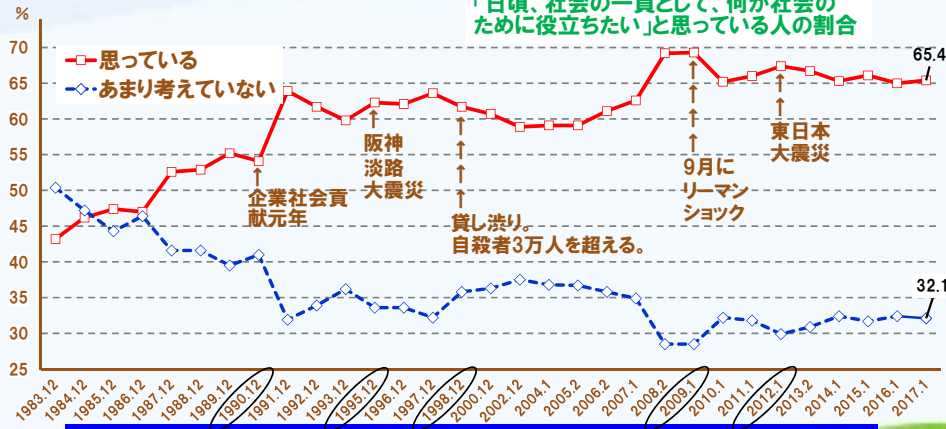
生活の中で気になっていることはどんなこと？

ブラック企業 人口問題 災害 結婚・離婚 政治
LGBT ジェンダー 食糧・水問題 保育所問題
ごみ問題 こどもの貧困



人々には社会貢献に参加する意欲がある

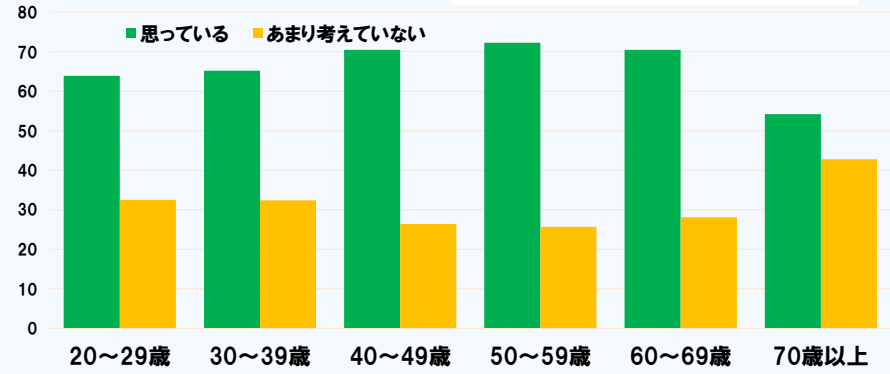
「日頃、社会の一員として、何か社会のために役立ちたい」と思っている人の割合



内閣府「社会意識に関する世論調査」から(年数は調査年月)

人々には社会貢献に参加する意欲がある

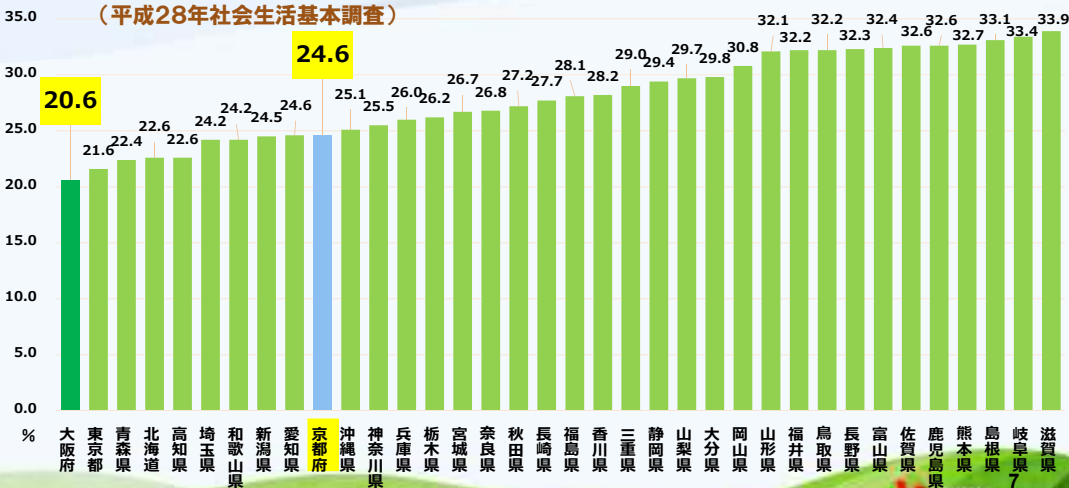
「日頃、社会の一員として、何か社会のために役立ちたい」と思っている人の割合



内閣府「社会意識に関する世論調査」から(2017年1月調査)

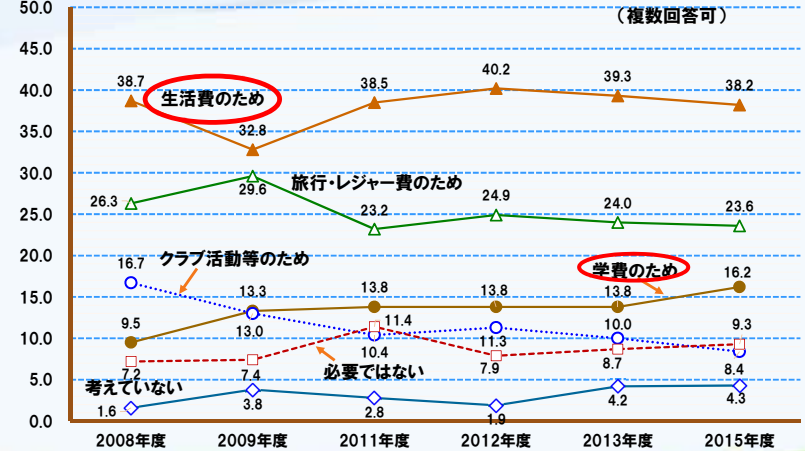
でも、こんなデータも… ボランティア活動の行動者率

大阪ワースト1位を獲得！！



でも、こんなデータも… アルバイトをしている主な動機・目的の経年変化

(複数回答可)



桃山学院大学 学生生活調査レポートから作成

シニア世代にとっての参加の「意味」 ～日本の人口構成は、どう変化するか

国立社会保障・人口問題研究所による推計

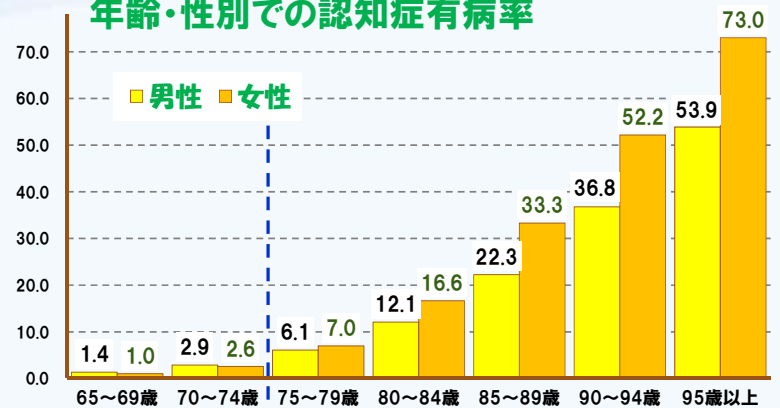
	2015年		2020年		2025年	
総人口	1億2,660万	1億2,410万	△250万 △2.0%	1億2,066万	△594万 △4.7%	
0～14歳	1,583万	1,457万	△126万 △8.0%	1,324万	△259万 △16.3%	
15～64歳	7,682万	7,341万	△341万 △4.4%	7,085万	△597万 △7.8%	
65歳～	3,395万	3,612万	217万 6.4%	3,657万	262万 7.7%	
65～74歳	1,749万	1,733万	△16万 △0.9%	1,479万	△271万 △15.5%	
75歳～	1,649万	1,879万	233万 14.2%	2,179万	533万 32.4%	

9

でも、こんなデータも…

東京都健康長寿医療センター
の報告書(2014年3月)から

年齢・性別での認知症有病率

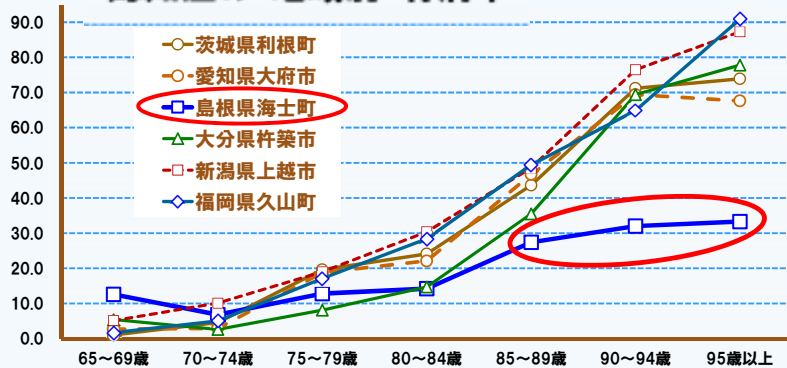


10

でも、こんなデータも…

認知症の“地域別”有病率

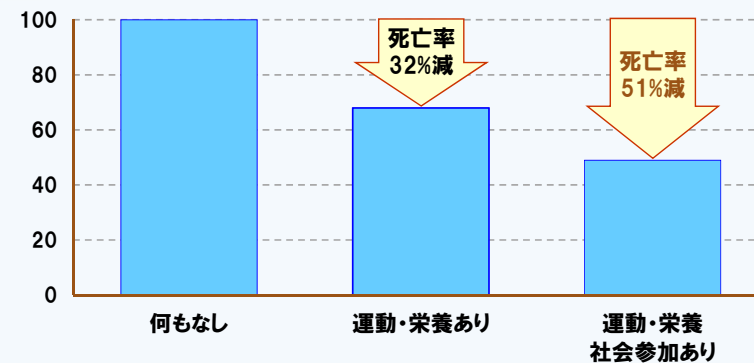
総合研究報告書「都市部における
認知症有病率と認知症の生活機能
障害への対応」(2013)から



11

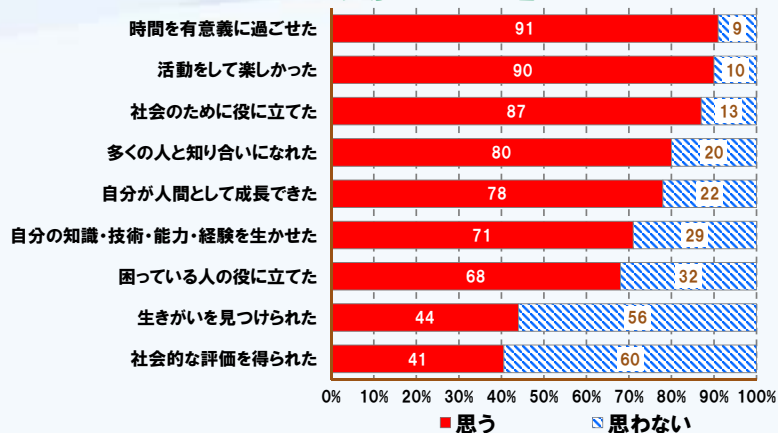
※ でも、こんなデータも…

静岡県で高齢者1万4千人の10年後を追ったら…



12

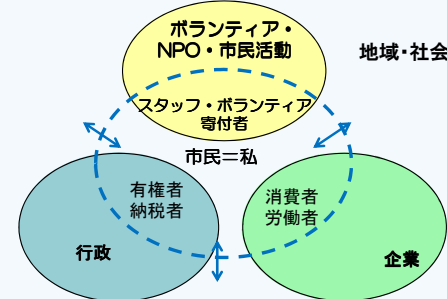
ボランティア活動をして感じたこと



(出典)経済広報センター「ボランティア活動に関する意識実態調査報告書」2011年

市民(私)の行動と地域・社会のつながり ～市民参加でコミュニティを変える

- ・地域・社会とのつながりを、市民(私)が**実感すること**が最初の一步。
- ・市民(私)が**主体的に関わる(参加する)**ことで、**地域・社会は変わる。**
- ・ボランティアやNPOの**活動に参加(寄付)**することは**地域・社会参加の一方法。**



★市民(私)の参加の領域が広がると、「**つながる実感、ひろがる世界**」を感じるようになる!

市民(私)が暮らしやすいコミュニティ ～じぶんのまちをよくすること=安心・安全につながる

- ・暮らしやすい地域・社会をつくることは**皆が願っている。**
- ・暮らしやすい地域・社会を実現するためには、コミュニティの社会的な課題を**誰かが解決する**必要がある。【ミッション】
- ・コミュニティの社会的な課題を解決するために、**最適な手法**をもって**取り組む必要がある**。その**行動の起こし方に決まった型はない**。
例:「社会企業」【事業・組織形態・財政】
- ・個人か組織か、非営利か営利か、その**組織の形態はさまざま**である。例:「NPO」はその内の一つ。【組織形態】
- ・事業の種類や組織形態によって、**財源の構成は変化する**。【財源】

● ボランティア活動

ボランティアとは
～**語源とキー概念**を押さえよう

☑ **Volunteer** (ボランティア) の語源は、
volunte+er (人を示す接尾語) で、
voluntas (ウォルンタ〜ス・ラテン語・自由意思)

つまり、「**志の人・したくてする人**」のこと。

- ☑ キー概念は、
- ① **自発性** → やる気 (放っておけない、我慢できない)
 - ② **社会性・公益性** → 世直し
(「私」が「社会」に関わるとは!?)
 - ③ **無償性** → 手弁当 (「無償」の意味は!?)



●ボランティア活動

自発性・社会性・無償性などを胸に「志の人」が行う活動



「ボランティア活動」

感じてみよう

感じてみよう

- できない理由を並べるよりも、できることを見つける私でいたい。見て見ぬふりをするよりも、勇気を出して行動できる私でありたい。

その方が、
きっと前向きに**生きられる**から。



感じてみよう

- 多数派の意見に流されるよりも、自分の考えを伝えられる私でいたい。利害関係や損得勘定でギスギスするよりも、人の喜びや痛みに寄り添える私でありたい。

その方が、
きっと私らしく**生きられる**から。



感じてみよう

- 私には関係ないと他人事にするよりも、自分が同じ立場に立ったときのことを想像できる私でいたい。
身近な人に危害が及ばないからと見過ごすよりも、傷ついたり、困ったりしている人の存在に思いを馳せられる私でありたい。

その方が、きっと**社会とのつながり**を実感できるから。



21

感じてみよう

- 世の中で起きているさまざまな問題は、どこかで**私自身**とつながっているとしたら…
問題の背景や真相をたどっていけば、他人事では片づけられない事実と出会うかもしれない。
- だから、**私と社会のつながり**を信じよう！
未知なる世界に勇気をもって飛び込もう！
新しい一歩を踏み出せば、
視野も行動範囲も人間関係も**広がる**はず!!



22

探してみよう
やってみよう

自分にあったボランティア活動の 見つけ方（好き・楽しい）

「好きでやっている」という発想・選び方

- ✓自分が共感する活動を続けていくことが、ボランティアを楽しんだり、長続きしていくことにつながっていく
- ✓「好きだから」という姿勢はペースの違うメンバーを認めることができるし、活動を楽しむ姿勢にもつながる

23

24

ボランティアを楽しむコツ

- (1) 何をすればいいのか
 - －迷った時は“好きなこと”から始める
 - －「正しい」からではなく
- (2) 活動を続ける秘訣
 - －活動のペースは人それぞれ
- (3) ボランティア活動を支える“楽しさ”
 - ・ボランティアにはワクワクする
 - 出会いがいっぱい！



25

活動に参加するための7つのポイント

- ①やるか、やらないか、決めるのはあなた
- ②お尻がムズムズ（わくわく）する活動をえらぼう！
- ③学ばぬより、学ぶボラ
- ④活動の魅力はネットワークだ！
- ⑤得意技を生かせる活動を見つける
- ⑥どこまですれば、充分なのか？
- ⑦活動があなたの元気の源に！



26

さあ、やってみよう

- つながる実感 ひろがる世界
たまたま知人に誘われて、ボランティア活動に参加してみたら…。いろんなことがつながり、自分の知らなかった世界が広がった。
- いろいろなボランティア活動
どの活動に参加してみたいですか？
一歩、まずはやってみる。お試しも歓迎。
一つじゃなくてもいい。お好きなだけどうぞ。
一人じゃなくてもいい。友達と、家族と、誰かと誘いあって。



27

さあ、やってみよう

- 関わり方でみるボランティア活動
 - ・イベントスタッフ
 - ・交流やケアのスタッフ
 - ・環境整備や景観美化のスタッフ
 - ・取材・編集スタッフ
 - ・事務局スタッフ
 - ・組織の意思決定に関わるスタッフ



28

やってみようをカタチにする

①思い（想い） / (Will・Wish)

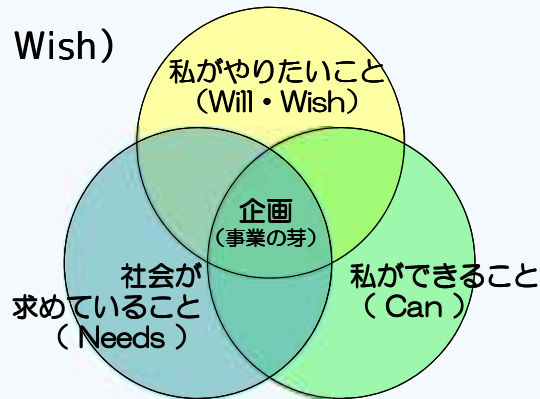
…私がやりたいこと

②技量 / (Can)

…私ができること

③ニーズ / (Needs)

…社会が求めていること



29

やってみようをカタチにする

●企画をする

□Wish、Needs、Canの重なる部分がポイント

- ・ Wishが欠けると、義務感でつまらなく
- ・ Needsが欠けると、お手軽でマンネリで

役にたたない

- ・ Canが欠けると、現実味の無い絵に描いた餅
- 3つの重なる領域が、創造的で楽しく意義や価値のある企画となります

30

ボランティアとは ～強みと弱みを押さえよう

●強み

- ・ 無償性：金銭的対価を超えた活動の展開
- ・ 機動性
- ・ 個別対応の容易さ、温かさ、柔軟性
- ・ 多彩さ
- ・ 主体的に参加すると、状況から逃げない

●弱み

- ・ 自発性は揮発性
- ・ 全体が見えないままに動く（動ける）
- ・ 好きなことしかしない
- ・ 自発性パラドックス

（パラドックス＝逆説。自分で進んでとった行動の結果、自身が苦しい立場に立たされること）

31

さあ、やってみよう

●つながる実感 ひろがる世界

たまたま知人に誘われて、ボランティア活動に参加してみたら…。いろんなことがつながり、自分の知らなかった世界が広がった。

●いろいろなボランティア活動

どの活動に参加してみたいですか？

一歩、まずはやってみる。お試しも歓迎。
一つじゃなくてもいい。お好きなだけどうぞ。
一人じゃなくてもいい。友達と、家族と、
誰かと誘いあって。

32

さあ、やってみよう

ボランティアは、
自分の生き方を見つめ、
私の可能性をひらく扉。
社会につながる私を発見しよう！

